



読者からの質問、疑問に
お答えするコーナーです。

ヘリコバクター・ ピロリ感染と 除菌について

千葉県医師会理事

六倉 朋胤 ししくらともたね
医師

Q ピロリ菌の除菌薬の副作用で下痢がひどく、途中で服用をやめた友人がいます。私も治療するつもりなので、副作用について教えてください。

A 「ヘリコバクター・ピロリ」という細菌は、胃粘膜に感染し、炎症を

起こします。その結果、胃炎や胃潰瘍、十二指腸潰瘍を引き起こすだけでなく、胃癌や一部の胃悪性リンパ腫も引き起こします。

この細菌については、医療機関で感染の診断を受けたら、早期に治療することがすすめられています。その場合は「除菌セット」と呼ばれる3種類の薬を1日2回、1週間服用することになります。薬に対するアレルギーがない限り、この組み合わせを用いることが最も効果的な除菌につながり、保険適用にもなっています。

しかし、この除菌治療にも注意点があります。それは、「決められた量を決められた飲み方で服用すること」です。除菌治療失敗の原因には、除菌薬の飲み忘れや、自己判断による服用の中止があります。一次除菌薬の副作用として、約10〜30%の方に軟便・下痢が、約5〜15%の方に味覚異常や口内炎が、約2〜5%に発疹が見られます。副作用は服用中止ですぐに改善しますが、そのような副作用が出た場合は、除菌薬を自己判断で中止せず、必ず処方してくれた医師

に相談するようにしてください。また、少数の方が逆流性食道炎になる場合もありますが、一時的で軽度なものであるのに気にすることはありません。

飲み忘れや自己中止は除菌の失敗につながるだけでなく、その除菌薬に対する耐性菌も出現させてしまい、改めて除菌をする場合の大きな障害になります。万が一飲み忘れや自己中止してしまった場合は除菌判定を行い、除菌できていなかった場合は改めて最初から除菌し直す必要があります。その場合は、一次除菌で使用する薬に対する耐性が起こりやすいことから別の抗生剤の組み合わせをしますが、治療期間は一次除菌と同じく一週間です。

除菌治療時に気をつけなければいけない事は、下痢をしやすい食べ物(消化の悪い物、刺激の強い物、キムチなどの特殊な発酵食品)やアルコールなどの摂取を控え、激しい運動や仕事を避け、睡眠を十分に取ることです。

